

24 環境保全考えよう

南 日

23. 1. 23 日 生物多様性学ぶ講演会

身近なる自然環境の保存方法を考えようと日南市は20日、市役所で生物多様性について学ぶ講習会を開いた。市民や市職員、学校関係者ら約60人が出席。専門家の講演を通じて、環境保全の方策を議論した。

市は昨年3月、環境施策の指針に当たる環境基本計画を策定。環境推進会議を設置す

るなどして、10年後の循環型社会構築を目指している。講演会はこの一環で、環境保全について広く関心を持ってもらうようと開催した。

冒頭、谷口義幸市長は「人間も地球上の生命体の一つ。自然と共生することを忘れてはならない」とあいさつ。続いて、日本ビオトープ管

理士会県支部の笹岡康則顧問が「環境を守るために何が出来るか」と題して講演した。

笹岡顧問は、海外で行われている環境保全の活動を紹介し、ビオトープの意味がドイツ語で「生物」と「空間」に当たることを説明。その上で笹岡顧問は「日本の学校では池が必要と考えているが、砂漠や木を植えるだけでもビオトープ。まずは教育者が環境保全の意味を知ることが大切だ」と話し、教育現場で理解向上の必要性を訴えていた。